

青谷かみじち史跡公園

重要文化財展示室展示資料

令和7年11月25日～令和8年3月22日

新たな展示品（主なもの）

こと 琴

弥生時代中期後葉（紀元前1世紀頃）



青谷上寺地遺跡では10点の琴が出土している。天板や側板など別々のパーツを組み合わせた箱作りの琴と呼ばれるもの。完全な形に復元できるものもあり珍しい。動物の絵を描いたものもあり、何が描かれているのか諸説ある。



むもんどき 無文土器

弥生時代中期後葉（紀元前1世紀頃）



朝鮮半島で作られた土器。口の部分に粘土を貼り付けており、粘土帯土器とも呼ばれる。煮炊きに用いる日常の土器であるため、朝鮮半島と山陰地方の間で人の往来があったことをうかがわせる。